

二十世紀梨・今年の果実は重いかな？ 鳥取砂丘ジオパークフェアで旬の味に舌鼓



8月25日(土)、鳥取砂丘市営駐車場でジオパークフェアが行われ、市内外から観光に訪れた家族連れなどでにぎわいました。会場では、砂丘の名産らっきょうや旬を迎えた二十世紀梨の試食販売が行われたほか、地元の食材を活かした4種類の料理が販売され、訪れた人たちは鳥取の味覚に舌鼓。家族や友達と食べ比べながら、お気に入りの味を見つけていました。

また、くじに書かれた数の二十世紀梨を選び、その重さを当てる「梨の重さ当てクイズ」を実施。誤差が100g以内であれば、選んだ梨を持ち帰ることができるこの企画には、多くの人が列を作っていました。東京から家族5人で訪れた亀井さんは、「初めて鳥取に来て、お土産をたくさん持ち帰ることができて嬉しいです」と、家族みんなで獲得した梨を見て、大満足の様子でした。

その他、今年のしゃんしゃん祭にも出場したStudio do hip 桜道里が、3種類の創作ダンスを披露。会場の盛り上がり華を添え、今年の夏のフィナーレを飾る、にぎやかな催しとなりました。



とっとり市報

2012年10月号 第1026号

目次

今月の表紙・人口・主な連絡先	P2
鳥取市を語る 市政への提言 映画監督 大友 啓史さん	P3
特集 磨こう！世界に誇れる鳥取の宝を。	P4-5
特集 市民の声が街を創る	P6-7
シリーズ 望見～鳥取市を想う～ 南 美希子さん	P8
シリーズ @じんけん	P9
シリーズ 元気です 鳥取砂丘ジオガイド	P10-11
まちかどアルバム	P12-13
健康・病院	P14-15
ピックアップインフォメーション	P16-19
鳥取市庁舎耐震改修案の具体化に向けた取り組みを進めています！	P16
祝日のごみ収集(鳥取地域)	P17
有名シェフに学ぼう！	P18
マンガ事業スペシャル企画！！	P19
など	
情報ひろば	P20-28
福祉(高齢社会課からのお知らせ、平成25年保育園の申し込みなど)	P20
お知らせ(健康づくり講演会、第35回鳥取市木のまつりなど)	P20-
募集(ノルデ運動自転車通勤チャレンジ運動事業参加者、名木・古木観察会など)	P22-
市民伝言板	P27
など	
無料相談	P29
各施設のイベント情報	P30-31
食・読者プレゼントなど	P32

PUBLIC INFORMATION

とっとり市報 No.1026

鳥取市の人口

男	: 94,218人	[+12]
女	: 101,270人	[-26]
合計	: 195,488人	[-14]
世帯数	: 77,542	[+21]

平成24年9月1日現在 [] 内は前月比

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに設置しております。どうぞご利用ください。

鳥取市役所

TEL 0857-22-8111(代)

FAX 0857-20-3040

〒680-8571

(郵便物は郵便番号と課名のみで届きます)

本庁舎 尚徳町116番地

第二庁舎 上魚町39番地

駅南庁舎 富安二丁目138番地4

鳥取市ホームページアドレス

<http://www.city.tottori.lg.jp/>

音声読み上げなどの支援機能があります

ホームページ抜粋版

(携帯電話対応アドレス)

<http://www.city.tottori.lg.jp/mobile/>

電子メール

kouhou@city.tottori.lg.jp

各総合支所

国府 TEL 0857-39-0555

福部 TEL 0857-75-2811

河原 TEL 0858-76-3111

用瀬 TEL 0858-87-2111

佐治 TEL 0858-88-0211

気高 TEL 0857-82-0011

鹿野 TEL 0857-84-2011

青谷 TEL 0857-85-0011

編集・発行

鳥取市企画推進部秘書課広報室

TEL 0857-20-3132

発行/平成24年10月1日

印刷/株式会社鳥取平版社

ロケ地の誘致は、発信力にかかっている！

全国を探して仁風閣に

市長 この度、映画「るろうに剣心」のロケを仁風閣でされました。まず、この映画のテーマを伺います。

大友 主人公の「緋村剣心」は、幕末の暗殺者だったんですが、あるとき、二度と自分は人斬りはしないと決意します。明治時代になって、タイトル通り流浪人しながら、自分の身の周りの者を助けていくというストーリーです。新時代をどうやって生き、新しい価値観をどう作っていくのか、というテーマを、魅力的なキャストイングで描きました。

市長 映画で、鳥取市のシンボルである仁風閣をロケ地とされた理由はなんですか。

大友 明治の時代において、洋館は、ひとつのモチーフですね。こういう重要文化財の洋館は、ものすごく貫禄とか風格を与えてくれるんです。全国津々浦々探し歩いて、ようやくここにたどり着きました。

名物の人を育ててほしい

市長 映画のロケ地になることで、地域の活性化を期待しています。制作側からみて、受入側にどのような取り組みを期待されますでしょうか。

大友 「龍馬伝」の長崎グラバー園でのロケでは、修学旅行シーズンと重なり、最初は使えなかったんですが、どうやったら撮影できるのかを考えました。そこで、園の方で交通整理をして頂ければ、修学旅行生に撮影現場を通して頂いていいと提案したんです。修学旅行生たちは、ロケ現場を見ることができ、一生の思い出になりますしね。我々も我慢するし、地元も我慢して頂くことを提案し、不可能を可能にしました。

市長 お互いがちよっと我慢をしながら、歩み寄ることでお互いに良い結果を実現できるということですね。

大友 地方の撮影では、ほかの土地にないオリジナリティが大事です。これは、情報を発信する人の発信力にもものすごくかかっていると思います。例えば、話題になるような強いキャラクターを持つ人って居たりしますよね。そういう魅力的な発信をできる方が何人かいると、一挙にぐっと変わります。是非、鳥取市でもそういう名物の方を育てていた

だけたらと思います(笑)。
市長 それは、隠れた重要ポイントですね。これから市に、熱心な担当者として相談窓口を置きたいと思っています。この映画の成功を大いに期待しております。
※対談内容を抜粋・要約して掲載しています。



- 対談者 映画監督 大友 啓史さん
- 場所 仁風閣
- 対談日 平成 24 年 8 月 11 日 (土)
- 協力 一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会